

○議長（明和善一郎君） これより、村政一般に対する質問並びに提出案件に対する質疑を行います。

通告順に発言を許します。

2番 杉田雅史君。

○2番（杉田雅史君） 皆さん、おはようございます。

舟橋小学校の皆さん、ようこそ舟橋村議会に。私は杉田と申します。

この舟橋村議会は、1年に4回定例会を約2週間開催しており、その他随時委員会などを開催している議会です。

きょうは舟橋村の行政全般にかかわることについて、議員から役場の皆さんに質問をすることとなっている日です。時間の許す限り、傍聴してってください。

では、質問に入ります。

きょうも傍聴に来てくださっている舟橋小学校では、2014年5月から「メダカの学校を探そう」をテーマに村内の調査を行ってきております。その調査により、竹鼻地区にあるリバーサイド公園内の用水で絶滅危惧種であるトミヨが発見され、貴重な生き物や自然環境を守る取り組みがなされてきました。

小学校では、メダカやトミヨがいたすてきな村だということを広く村民に知らせたいと、各地のいきいきサロンを訪問し、地域の方々に調査報告をしたり、用水のごみ拾いや泥上げを継続して行ったことにより、清流に來ると言われるカワセミの姿も見られるようになりました。

子どもたちがこうした活動を続けたことに地域の方々も協力するようになり、昨年には地域の方々が環境委員会を立ち上げ、用水脇にプランターを置いて花を飾ったり、用水沿いの草刈りを行うなど、地域と一体となった活動が行われるようになり、昨年3月には、富山・水・文化の財団とやま環境賞ジュニア活動賞を受賞。本年5月には、野生生物保護功労者表彰文部科学大臣賞を受賞。また、本年8月には、第23回コカ・コーラ環境教育賞最優秀賞を受賞しております。また、2015年5月から3カ年にわたり、「富山県やせいの生きものふれあいモデル校」として第1号の指定を受けています。さらに、11月22日の富山新聞では、村内を流れる2級河川の細川で遡上しているサケを確認し、サケを増やす活動にも乗り出したとありました。

舟橋村の将来を担う子どもたちが、村を愛し、美しい村を維持する活動を今後も継続していくためには、子どもたちと地域の皆さんの協力だけでは、長く続けることは困難

です。

現在、子どもたちが一生懸命活動をしているリバーサイド公園には、トイレもなく、手を洗う水場也没有せん。夏場の暑い時期には、水を飲むところもないので、熱中症が心配されます。今後、舟橋村を担う子どもたちが安全に活動できるよう、早急に活動しやすい環境に改善する必要があると思います。

舟橋村として、今後、子どもたちの活動をどのように支えていくのかについて伺いたいと思います。

よろしく申し上げます。

○議長（明和善一郎君） 教育長 高野壽信君。

○教育長（高野壽信君） おはようございます。

2番杉田議員さんのご質問にお答えします。

舟橋小学校の子どもたちが、絶滅危惧種の淡水魚「トミヨ」を守り育てる取り組みが新聞やテレビにも何度となく報道され、舟橋村の子どもたちの活動が全国に向けて発信されています。

ご質問の中にありましたように、環境保全に関する幾つかの賞ももらっています。特にコカ・コーラ環境教育賞最優秀賞を受賞できたことについては、教育委員会の目指している柱の一つである地域を教材とした学習の充実、地域と連携した教育活動が評価されたものであります。

改めて、子どもたちの継続した粘り強い取り組みをたたえとともに、子どもたちと一体になって取り組んでいただいた地域の皆様のご協力に深く感謝申し上げたいと思います。

さて、このような子どもたちの活動が安全に行えるよう改善、支援を早急にとのご質問であります。

校外学習の実施には、子どもたちの安全・安心は最優先事項であることは言うまでもありません。校長、担任をはじめ教職員は幾つかのマニュアルに沿って事前点検を行い校外学習に臨んでおります。

一般質問通告書に、トイレ、水場の設置とありました。私たちが日に何度も利用するトイレであります。施設として整っておれば安全・安心であることは当然であります。

しかしながら、トイレの設置には自治会の判断、公園の管理・設置者の判断、防犯カメラ等の設置による安全性の確保、障害者用トイレの併設、清潔さを保つための日常清

掃、予算の確保など、解決しなければいけない課題がたくさんあります。

このようなことから、今すぐにトイレの設置は難しく、今後の検討課題とさせていただきます。

ご質問にあります問題解決のための方策としましては、今までより時間を短縮して実施回数を増やす。近くの公民館など公的な場所のトイレを借りる。公用車を準備し、子どもの搬送をする。簡易トイレを設置する。緊急の場合や長時間にならざるを得ないときのために、前もって近隣の方にトイレ使用のお願いをし、了解をとっておくなどが考えられ、検討していきたいと思います。

11月27日の新聞報道で、地元の川のサケ守ると題して子どもたちの保護活動が大きく掲載されました。保護者、地域社会の連携、支えの中で、子どもたち一人一人が地域に溶け込み、自信を持って生き生きと活動する姿は頼もしく、このような教育活動はこれからも続けていきたいと考えております。そのためにも、改めて村民の皆様のみますのご理解とご協力をお願いいたしまして、杉田議員さんのご質問の答弁とさせていただきます。

○議長（明和善一郎君） 杉田雅史君。

○2番（杉田雅史君） 高野教育長、答弁ありがとうございました。

これからの時期、来年度の予算編成作業にもう入っておられることと思いますけれども、今私が申し上げたように、公園内にそういった施設があって、不要な物でもなく、必要な物となってくると思います。

ですから、公園内のトイレや水場の設置、また今、教育長、諸問題を挙げられました。そういった諸問題を乗り越えていただき、ぜひとも来年度予算に計上していただけるようよろしく願いして、私の質問にかえさせていただきます。